

平成23年9月定例議会が9月1日に開会され、市長と教育長が行政報告を行いました。本紙では、その要旨を紹介いたします。なお全文は市ホームページで紹介しています。

はじめに

今年の夏はこのほか暑く、熱中症などで病院へ搬送される人も多く、市民の皆さんの健康面での心配をしています。

また、全国的には節電の呼びかけがなされ、エネルギー問題に大きな関心が寄せられています。国会では、再生可能エネルギー特別措置法が成立する運びとなりました。この政策転換を契機ととらえ、新しいエネルギー政策について議論を深め、市民の皆さんとともに市の魅力を高め、将来世代への貢献を図るための体制を作りたいと考えています。

プロジェクトチームの状況

「新図書館整備検討プロジェクトチーム」は、基本構想がまとまりました。本年度中に今後4回程度の会議を予定しており、市民フォーラムを開催するなど市民の意見も聞きながら、来年2月には基本計画（素案）を策定したいと考えています。

「生活交通システム検討プロジェクトチーム」では先般開催した地域公共交通会議での意見や感想を受け、「瀬戸内市生活交通ネットワーク計画（牛窓地域計画）」について、さらに内容の検討をしています。今後は、地域の皆さんに対して丁寧な説明を続けながら、結論を出していきたいと考えています。

また、市内の他地域についても、地域にあった交通システムについて検討したいと考えています。

「子ども教育検討プロジェクトチーム」では、特別支援教育の充実と学力向上を図るため、8月に職員を対象として保幼小連携研修会を開催しました。合わせて子育てや発達障害などの相談窓口として子育て相談センターの設置を検討しています。

総合防災訓練

9月4日に実施する「瀬戸内市総合防災訓練」は、東日本大震災を踏まえ、今回初めて津波による被害も想定し、岡山県、倉敷市、備前市との合同による広域的な訓練を予定しています。



危険な場所の情報交換も行った防災訓練

用語の解説

再生可能エネルギー特別措置法

太陽光など再生可能エネルギー源を用いて発電された電気を電気事業者が買い取ることを義務付け、その買取費用に充てるため各電気事業者が使用電力量に比例した賦課金の支払を請求することを認める法律。

プロジェクトチーム

市政運営上、特に重要で戦略的かつ組織横断的な検討が必要な案件について検討を行う組織。

新図書館

市内図書館・図書室における蔵書数、閲覧場所、司書の数などの不十分な状況を改善するために市内に建設を検討している新しい図書館。

生活交通システム

交通空白地域やいわゆる交通弱者などの移動を支援するための仕組み。

オリーブ団地牛窓

市が販売する牛窓町長浜地内の分譲宅地。住宅を建て、定住した人に分譲価格の30%を交付する補助金制度がある。

錦海塩田跡地

所有していた企業の経営破綻により排水ポンプなどの管理が困難になり、周辺住宅などへの浸水被害が心配されたため、市が買い取った約500畝の土地。

スマートコミュニティ

再生可能エネルギー（自然現象から取り出すことができ、何度利用しても再生可能な枯渇しないエネルギー資源。具体的には、太陽光、風力、生物資源、地熱、水力、空気熱など）を住宅やビル、交通、生活習慣など一連の社会基盤において、効率的に活用する社会。スマートとは「賢い」という意味。

福島県富岡町災害対策本部への支援

東日本大震災による福島第一原発事故の影響により、警戒区域に指定されている福島県富岡町は、郡山市の産業交流館「ビッグパレットふくしま」内に災害対策本部を設置しています。

市からは、6月末から8月末までに、職員16名を派遣し、一時帰宅者の連絡調整などの業務支援を行いました。

富岡町からは震災以後、不眠不休で業務を行ってきた職員の健康面の負担軽減が図れたと非常に感謝されています。

今後も支援の要請があれば、積極的に対応したいと考えています。

定住化の促進

本年度の分譲宅地の販売目標は19件です。この目標達成



販売が進むオリーブ団地牛窓

に向けて、住宅情報誌への掲載や、大阪定住相談デスクに出展するなど宣伝活動を行っています。8月15日現在、オリーブ団地牛窓で9件の契約が成立しています。現在、震災の影響もあって関東方面からの問い合わせも多いため、伝活動も推進したいと考えています。

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊は、平成21年度からの総務省事業として、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、三大都市圏および政令指定都

市の人材を積極的に誘致活用することにより、地域力の維持・強化および地域の活性化や定住促進を図るために創設された事業です。市では、この事業を活用して1人の隊員を公募し、地場農水産物を活用した加工品の開発や空き家再生活動などに従事してもらう予定にしています。

錦海塩田跡地活用の推進

第一回目の「錦海塩田跡地活用検討委員会」を9月5日に開催することが決まりました。今後は、様々な方向から知恵を出し合いながら、跡地の有効活用の方角性を検討していきます。

環境配慮型社会（スマートコミュニティ）構想研究会

岡山モデルの「スマートタウン社会」の構築を目指し、県との意見交換会に参加しました。これは、太陽光発電や小水力発電などの新エネ

会場は牛窓中学校グラウンドで、海上自衛隊のヘリコプターや海上保安部の船舶による山間孤立地区や孤立した島しょ部地区の市民を救出する訓練なども行います。また、8月21日には今城コミュニティで防災訓練を実施しました。今後も各地域での防災訓練などの実施を予定しており、これにより市民の防災意識を高めるとともに、自主防災組織も育成していき

決算状況と今後

昨年度の決算状況は、歳入面で地方交付税および地方交付税の振替財源である臨時財政対策債が増額となり、残余分を基金へ積み立てることができました。これまで財政健全化に向けて、職員一丸となって努力してきた取り組みの成果により、財政の硬直化を示す経常収支比率をはじめ、財政健全化判断比率である実質公債費比率や将来負担比率のいずれの数値も前年度よりも好転しています。